



小林憲一 (日本共産党)

- 1.日米軍事一体化に反対しよう！
- 2.都の責任で多摩格差是正させよう！
- 3.プライバシー守る避難所環境整備を

問 4月の日米首脳共同声明での日米軍事一体化は憲法9条違反ではないのか。

答 安全保障は、(憲法9条の)戦争放棄、戦力不保持、交戦権否認の原則が重要だ。

問 都に「多摩格差是正」「地域公共交通助成…補助制度創設、シルバーパス充実」「平和発信」「統一協会施設ゆるさない」を求めている。いかがか。

答 多摩格差のおおもとには税収入の格差があり、これがサービスの格差にもつながっている。財源補完としての市町村総合交付金の充実を市長会等で要望していく。公共交通の運行経費への継続的補助の創設を要望していきたい。

問 避難所でのプライバシー確保にパーテーションを充実させてほしい。また体育館以外の避難所を確保すべきだ。いかがか。

答 パーテーション追加配備等は今後検討する。避難所として協力してもらえる民間施設等も探していきたい。



折戸小夜子 (多摩の風)

- 1.食料自給率向上の抜本的な対策を
- 2.高齢者の孤独・孤立対策を

問 日本の食料自給率は38%と、諸外国と比べて飛び抜けて低い。

とりわけ日本農業は深刻で、今116万人の基幹的農業従事者が20年後は4分の1の30万人になると予測され、30万人になったら、農地も守れず食料も作れず崩壊する。世界的に食料危機が高まっている中、農産物の輸出国も自国を守るため、他国に輸出することは考えられない。平時から国内生産を高め自給率を上げることを基本にすべきと考えるが認識を伺う。

答 我が国は食料を海外からの輸入に依存しており、海外での食料の生産状況や調達・運搬状況等で、食料の輸入が滞ることも懸念される。自国での食料自給率の向上が必要であると認識している。

問 多摩市での高齢者の、ひとり暮らしによる孤独・孤立状況を踏まえての具体的な対策を伺う。

答 令和6年の高齢者のひとり暮らしは男性4,021人、女性9,001人。24年間で特に男性ひとり暮らしの人は5.5倍に増加している。高齢者見守り相談窓口を充実する。



石山ひろあき (自民党)

聖蹟桜ヶ丘のまちづくりについて

問 カワマチエリアからの活性化を、どのように街の東側・南側に広げていくのか伺う。

答 賑わいを聖蹟桜ヶ丘駅周辺につなげるよう(一社)聖蹟桜ヶ丘エリアマネジメントと協議していく。

問 一ノ宮公園から京王線鉄橋下にかけてサイクリングロードが整備されたが、スピードを落とさず通過する自転車が多い。自転車と歩行者の安全管理について伺う。

答 注意を促す表示板を設置しているが、利用状況や安全性についても、現地を見て確認が必要である。

問 タワーマンション前に一方通行道路が整備されたが逆走する車が多い。安全面からも道路にラインを引くなど、予算をつけてでも対応していただきたい。

答 警察に相談し、対応していきたい。

問 聖蹟桜ヶ丘駅北側に野菜直売所「いきいき市」があるが、市は販路拡大をどのように考えているのか伺う。

答 野菜直売所「いきいき市」を知ってもらえるようチラシ・ホームページなどで周知していく。



しのづか元 (多摩みらいの会)

- 1.「子どもまんなかの多摩市」実現に向けて
- 2.農業公園づくりについて

問 これまでも提案しているが、待機児童が生じているエリアから、空き定員のある認可保育所や認定こども園に移送するサービスである、駅前保育送迎ステーションの導入についての検討状況と今後の見通しについて伺う。

答 駅前保育送迎ステーションの導入は待機児童解消の施策の一つであると認識している。施設の配置や保育士の配置、乳児を送迎する際の安全面などの課題があるが、導入に向けて今後は具体的な検討を進める。

問 農業公園づくりは、「連光寺・若葉台里山保全区域」内の取組みであり、農業公園エリア以外にも、希少動植物が生息する湿地、森林エリアなどが一体となった里山環境の保全が求められる。農地以外のエリアも含めた今後の保全のあり方について、市の見解を伺う。

答 それぞれのエリアで管理手法・管理主体が異なってくるなかで、保全地域全体として一体性を保つための共有体制等もあわせて構築することが必要である。他のエリアについても順次取組みを進める。

